



校長室だより 足立区立第九中学校

第109号 平成31年4月13日発行 長塚琢磨



【本格始動！ 素敵な入学式・対面式！】

4月9日（月）には、厳粛かつ盛大な入学式が挙行できました。また、4月10日（火）には、全校生徒553名がはじめて集う対面式が立派に行われ、平成31年度が本格的にスタートしました。



対面式の様子

中学校は、義務教育を締めくくる最後の3年間として、学力・体力・豊かな心を磨き、自ら進路を切り拓く力を身に付けるところです。全生徒が自主・自立の精神で、九中の校訓「磨く」「挑む」「思いやる」を実践し、自らを誇れるよう、全力で指導いたしますので、ご家庭や地域の皆様の協力をよろしくお願いいたします。

【自主・自律！ 九中生の誇り！】

生徒会による1年生対象のオリエンテーション、部活動説明会が開催されました。生徒が自らの意思でよりよい学校をつくっていかうとする態度を大変嬉しく思っています。説明を聴く1年生の態度も立派で、これからの九中の発展を予感させてくれました。



上級生が1年生に説明

特に、中学生としての清潔感あふれる身だしなみ、安全なカバンを持ち方などを真剣に聴く姿、部活動への関心の高さや燃える心を1年生から感じるとともに、一生懸命に説明する2・3年生からは上級生としての誇りを感じました。生徒たちも頑張りますので、ご家庭でもご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【4月に贈る詩②】

生徒たちに、未来の自分をイメージして頑張ってもらいたいこの詩を贈ります。

出発

ぼくは

マラソン競走で

白いスタートラインにならぶ時がすきだ。

軽く腰をうかせ

きつと遠い前方の山をうかがう

あの瞬間のびんと張った気持ちが好きだ。

やがて笛は鳴りひびくだろう。

ぼくたちはかけ出す。

校庭を一周し、

町をぬけ、村を通り、おかをこえる。

友をぬいたり

友にぬかれたりする。

みなぎってくる

いろいろの思いをしずかにおさえて

友と友の間にはさまれて

先生の笛の合図をまっている

あのふしぎにしずかで、

ゆたかな、出発の時がすきだ。

井上 靖

[平成31年度教職員一覧]

保護者や地域の皆様と共に、教育の充実に努めますのでよろしくお願いいたします。

○ 学年所属等

	学級等	氏名	教科等		学級等	氏名	教科等
第一学年	1-1	○熊田 佳祐	国語	第二学年	2-1	小嶋 将太	国語
	1-2	宮代 祐太	技術		2-2	神澤 悠太	英語
	1-3	佐々布 拓	数学		2-3	△大久保 卓	数学
	1-4	加藤 浩美	英語		2-4	○温井かほる	数学
	1-5	福島 重利	社会		2-5	▽下村 史孝	保体
	1-6	◎草野 伸明	保体		全級副	篠田 貴司	理科
	1 2 副	小矢島正枝	理科		全級副	平塚 益孝	社会
	3 4 副	棚村 力也	音楽		全校副	☆□高橋由加里	養護
	5 6 副	菊池 優花	家庭				
第三学年	3-1	○関根 洋介	社会	※ 表中に次の主任等を示しています。			
	3-2	橋本 竜夫	美術	○：学年主任			
	3-3	◇市原 正臣	保体	◎：教務主任			
	3-4	村上 尚子	英語	◇：生活指導主任			
	3-5	北原 翼	数学	△：進路指導主任			
	1 2 副	鈴木 渉夫	数学	▽：保健主任			
	3 4 副	松井 洋	理科	☆：特別支援教育コーディネーター			
	5 副	木村 理恵	国語	□：教育相談コーディネーター			

○ 事務・栄養士・その他の職員

職	氏名	職	氏名
事務主事	福岡 理哉	講師(国語)	小山 美穂(月曜日)
栄養士	浅見 真里子	講師(社会)	荒木 典子(木曜日)
区臨時職員(事務)	松澤 光恵	講師(理科)	廣瀬 翔(水木曜日)
区臨時職員(事務)	渡邊 亜矢	講師(美術)	河野 豊子(水曜日)
区臨時職員(事務)	西本 佐智子	講師(保体)	武井 蘭(月～金曜日)
生活指導員	掛川 真幸	講師(英語)	川岸 早苗(火金曜日)
図書館支援員	内海 朝子	区スクールカウンセラー	下飼手 龍一(金曜日)
都スクールカウンセラー	宇留鷲 美紀(水曜日)		

※ 学校用務 [(株)ケンズコミュニティ]: 石田 健司、安達 三枝子、飯田 芳正・土屋 隆子
給食調理 [(有)朝日屋]: 安嶋 妙子 (チーフ)

コラム①:新元号「令和」

様々な報道で新元号の「令和」が話題になっています。日本最古の歌集といわれている「万葉集」から引用した言葉の「令月」は、「何をするにもよい月。めでたい月。」という意味だそうです。希望や豊かな心を持ち、みんなで世界平和に向けて頑張る素敵な時代をつくりましょう。



コラム②:離任式 4月26日(金)

離任式では、九中を去られる先生方と出会えたこと、共に九中で生活できたことに心から感謝し、御礼の気持ちを伝えたいと思います。

《「一期一会」を大切にしましょう。》

茶道から出た言葉で、一生に一度しかない機会と心得て互いに誠意を尽くそうという考え方からできた言葉だそうです。

